

日本で安心・安全に暮らすために

7か国語による

快適生活情報クリップ

How to support safety life

确保生活安全的援助导航

Mapa de apoio para ter uma vida segura.

안전한 생활을
확보하기 위한
지원지도

Impormasyon para sa
matiwasay na
pmumuhay sa Japan

Panfleto informativo
de vida agradável

D V 編

Domestic
violence

DV 篇

Violência
Doméstica

Acta de Control
de Inmigración

가정폭력편
이하 DV

Imigrasyon



がいこくじんのみなさまへ
外国人の皆様へ

ぼくを はなれて にほんでくらしている みなさんにとって、まいにちの せいかつは たいへんな ことが おおいと思います。とくに だんなさん や こいびと の ことで なやんでいるひとがいたら DVや じけんに ならないうちに ぜひ FICECに そうだんに 来てください。
わたしたちは みなさんが ふつうの せいかつが できるように アドバイスをしたり にほんごを おしえたり 7かこくごで ニュースをかいている NPOです。
おしゃべりを するような きがるなきもちで あそびに きて ください。

母国を離れて日本で暮らしているみなさんにとって、毎日の生活は大変なことが多いと思います。特にだんなさんや恋人のことで悩んでいる人がいたら、DVや事件にならないうちにぜひ、FICECに相談に来てください。

私たちはみなさんが普通の生活ができるようにアドバイスをしたり、日本語を教えたり、7か国語でニュースを書いているNPOです。

おしゃべりをするような気軽な気持ちで遊びに来てください。

◆安全な生活を確保するための支援マップ 4

How to support safety life 7 確保生活安全的援助导航 11 Mapa de apoio para ter uma vida segura. 14 Como vivir una vida segura 18 안전한 생활을 확보하기 위한 지원지도 22 Paano suportahan ang ligtas na buhay 25

Q1 子どもの前で妻を殴ってしまいました 5

I beat my wife in front of my child 8 在孩子面前殴打妻子 12 Dei um soco na mulher diante dos filhos. 15 Golpeé a mi esposa en frente de mi hijo 19 아이들 앞에서 아내를 때렸습니다 23 Sinaktan ko ang aking asawa sa harap ng aking anak 26

Q2 夫は仕事をすぐ辞めてしまいます 5

My husband quits work real quickly 8 丈夫立即辞掉工作 12 Meu marido não persiste no trabalho. 15 Mi esposo cambia de trabajos muy rápido 19 남편은 일을 금방 그만둡니다 23 Ang asawa ko ay madalas huminto sa trabaho 26

Q3 1日 100 件以上のメールがきます 5

I receive 100 e-mails a day 9 1 天收到 100 件以上的 MAIL 12 Chega mais de 100 e-mails por dia. 16 Recibo como 100 correos electrónicos diario 20 하루에 100 건이상 메일이 옵니다 23 Araw-araw nakakatanggap ako ng isang daan na e-mail. 27

日本語
P4~P6

Q4 同居中の彼の暴力 6

My live-in boyfriend behaves violently 9 同居中, 丈夫の暴力行為 13 Violência do namorado que vive juntos. 16 Mi novio, que vive conmigo, se porta muy violento 20 동거남의 폭력 24 Ang kinakasama kong nobyo ay may ugaling marahas 27

English
P7~P10

Q5 怒鳴り散らす夫と暮らすのがイヤになりました 6

I don't want to live with my husband who gives a shout 10 无法忍受丈夫的咆哮 13 Desgosto de viver com o marido que berra. 17 No quiero vivir con un esposo que grita mucho 21 소리를 지르는 남편과 살기 싫습니다 24 Ayoko ng pakisamahan ang aking asawa kung palaging nakasigaw 28

中国語
P11~P13

Português
P14~P17

Q6 私は DV 被害者。生活保護の申請ができますか 6

I am a victim of domestic violence. Can I apply for Public Assistance? 10 我是 DV 受害者。是否可以申请生活保护呢。 13 Víctima de VD pode pedir ajuda social? 17 Soy víctima de violencia doméstica (VD). Puedo solicitar asistencia pública? 21 DV 피해자는 생활보호신청이 가능합니까? 24 Biktima ako ng karahasan sa tahanan. Puwede ba akong humingi ng pampublikong tulong? 28

Español
P18~P21

한국어
P22~P24

◆ 配偶者暴力に関する相談窓口 29

Consultation counter regarding domestic violence of your partner 遭受配偶者暴力的咨询窗口 Guichê de consulta relativo a VD. Ventanilla de consultas para VD 배우자폭력에 관한 상담창구 Counter ng Konsultasyon tungkol sa karahasan sa tahanan ng iyong asawa

Tagalog
P25~P28

◆ 東上線沿線の日本語教室 30

Japanese Language class along Tobu Tojo Line area 东武东上线沿线的日本語教室 Clases de japonês ao lado da Tobu Tojosen Clases de japonés a lo largo de la línea Tobu Tojo 도부도조선상의 일본어교실 Mayroon klase ng Nihongo sa lugar na malapit sa linya ng Tobu Tojo na train

17 組に 1 組が国際結婚となった今、ふじみの国際交流センターには、配偶者や恋人からの暴力に関する相談が多く寄せられています。

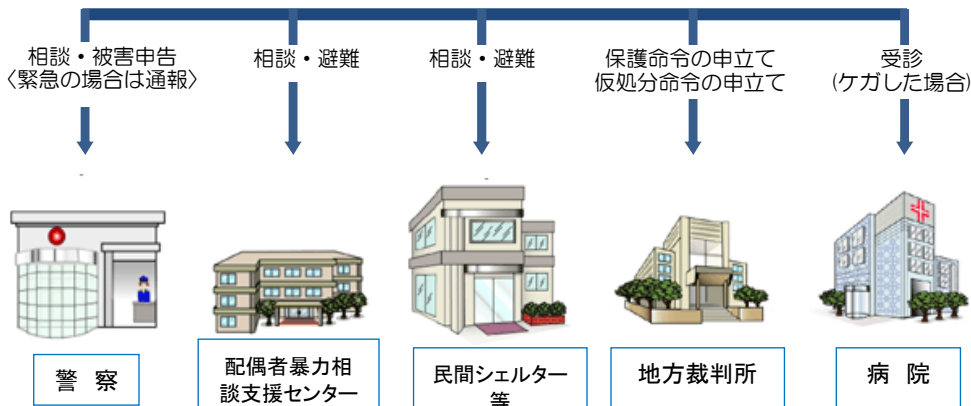
対等の関係で、お互いに言いたいことを言い合えるのは喧嘩ですが、相手を支配しようとしたり、相手の人権を認めないのは DV です。自分で解決できないときや、身の危険を感じた時はひとりで悩まず、相談してみましょう。

2001 年に DV 法（DV 被害者支援に関する法律）が成立して以来、被害者支援のネットワークはだいぶ充実してきました。内閣府の資料を基に関係機関のつながりを紹介します。

安全な生活を確保するための支援マップ



被害者



- ・被害者の保護
- ・相談
- ・加害者の検挙
- ・ストーカー規制法に基づく警告等
- ・警察本部長等の援助

- ・被害者の保護
- ・相談
- ・一時保護
- ・自立生活の促進

- ・配偶者暴力相談支援センターから一時保護が委託される場合あり

- ・保護命令
- ・接近禁止命令
- ・退去命令
- ・仮処分命令

- ・被害者の発見
- ・治療
- ・診断書の作成
- ・支援センター情報提供



DV 相談の流れ



アパートに
引っ越し

警察・市役所に逃げる

詳しく話をする

DV 被害者として認められた場合

婦人相談センターまたは民間シェルターに入居
(2 週間から 1 か月)

- ・離婚・子どもの親権等の相談に弁護士事務所に行く
- ・持病のある人は病院に通う
- ・アパートを探す

Q.1

中国人の妻とすぐ喧嘩になります。私は大声を出してしまい、妻は中国語でまくしたてます。仕事で疲れているので、子どもの前でつい殴ってしまいました。私は悪いのですか？ (日本・男性)

A どんな理由があっても、暴力は振るう方が悪いのです。自分の価値観だけで相手を思い通りにしようとするのは無理です。また、子どもの目の前で暴力を振るうことは児童虐待です。



暴力を目撃したことで、子どもにさまざまな心身の症状が現れるといわれています。家庭の中で、いつも暴力を見て育った子は感情の表現や、問題解決の手段として、暴力を振るってしまう大人に育つかも知れません。DV も児童虐待も犯罪だということを自覚してください。

Q.2

夫は仕事が長続きせず、すぐに辞めてしまいます。生活費も渡してくれません。生活がどんどん苦しくなっています。どうしたらいいのでしょうか？ (ブラジル・女性)

A 必要な生活費を渡さないのも暴力の一種ですが、問題解決の方法としてあなたが働くことで、生活費を賄うこともできます。そのために日本語の勉強をしておきましょう。



職業安定所〈ハローワーク〉

川 口	048-251-2901	大 宮	048-667-8609
熊 谷	048-522-5656	川 越	049-242-0197
本 庄	049-522-2448	東松山	049-322-0240

浦 和	048-832-2461
所 沢	042-992-8609
飯 能	042-974-2345
秩 父	049-422-3215
春日部	048-736-7611
行 田	048-556-3151
草 加	048-931-6111
朝 霞	048-463-2233
越 谷	048-969-8609

Q.3

結婚前に付き合っていた男性とフェイスブックでつながってしまいました。その後 1 日 100 件以上のメールがきます。住所も知られてしまいました。どうしたらいいですか？ (フィリピン・女性)

A 最近はメールやチャット、フェイスブックを使ったストーカー行為が急増しています。取り扱いは十分気を付けましょう。相手の方にははっきり断り、迷惑メール対策として「受信拒否設定」をしましょう。

それでも、ストーカー行為をされたり、生命

や身体の危険を感じるときは P31 の警察や配偶者暴力相談センターに相談しましょう。

2013年10月3日からストーカー規則法「付きまとい等」として、取り締まれるようになりました。



Q.4

同棲中の彼はお酒を飲むと殴ったり、けったり、物をなげつけたります。最近はお酒を飲まなくても暴力を振るいます。どうしたらいいですか。(ブラジル・女性)

A 同棲中に彼の本性がわかったのは、不幸中の幸いです。早く別れましょう。まず逃げてください。

その時はパスポート、ビザ、健康保険証、貯金通帳等を必ず持って出てください。携帯電話の番号やメールアドレス等を至急変更しましょう。

身体に重大な危害を受ける恐れがあるときは裁判所に保護命令を申し立てることをお勧めします。2014年1月3日から保護命令の対象が同居する交際相手からの暴力の被害者にも適用されます。

保護命令には以下の三種があります。命令に違

反すると1年以下の懲役または、100万円以下の罰金を払わなくてはなりません。

①接近禁止令：加害者が被害者や子ども、または親族等の身近につきまといたり、徘徊することを禁止する命令。期間は6ヶ月です。

②電話等禁止命令：被害者に対する電話やメールが禁止されます。期間は6ヶ月です。

③退去命令：被害者と一緒に住んでいる住居から、加害者を退去するように命じるものです。期間は2か月です。



Q.5

夫はいつも「ばか」「出て行け」と怒鳴ります。もう一緒に暮らすことが嫌になりました。子どもと家を出て、生活をしようと思っています。(ポルトガル・女性)

A 妻を怒鳴りつけるのは精神的暴力といえます。きつとあなたは悔しいし、悲しいでしょう。

でも、簡単に家を出ることを決断するのはちょっと待ってください。母子だけで暮らすことは容易なことではありません。

子どもが父親に会いたがって泣いたり、友達や知り合いがいらないところに住まざるを得なく

なります。

簡単に家出を決める前に毎日の生活を見直してみましょう。

仕事を始め、一生懸命働いて、いざという時のために貯金をしておくことも大切です。

それでも、どうしても我慢ができなくなったら、P31の相談窓口にご相談してください。

Q.6

私はDV被害者だと思います。しかし別居するお金はありません。3ヶ月の子どもがいるので、仕事もできません。生活保護の申請はすぐにできますか？(コロンビア・女性)

A DVと判断するのは、警察や行政の窓口です。簡単に生活保護が受けられるわけではありません。

DVと認定されると、一時的にシェルターに保護されます。お金が無い場合は、生活保護を申請し、認可されると転宅費用が支給され、ア

パートや母子支援施設に引越します。もとの生活に戻ることはできません。

これまでの手続きは大変な作業で、たくさんの人たちの善意と多額の税金が使われます。

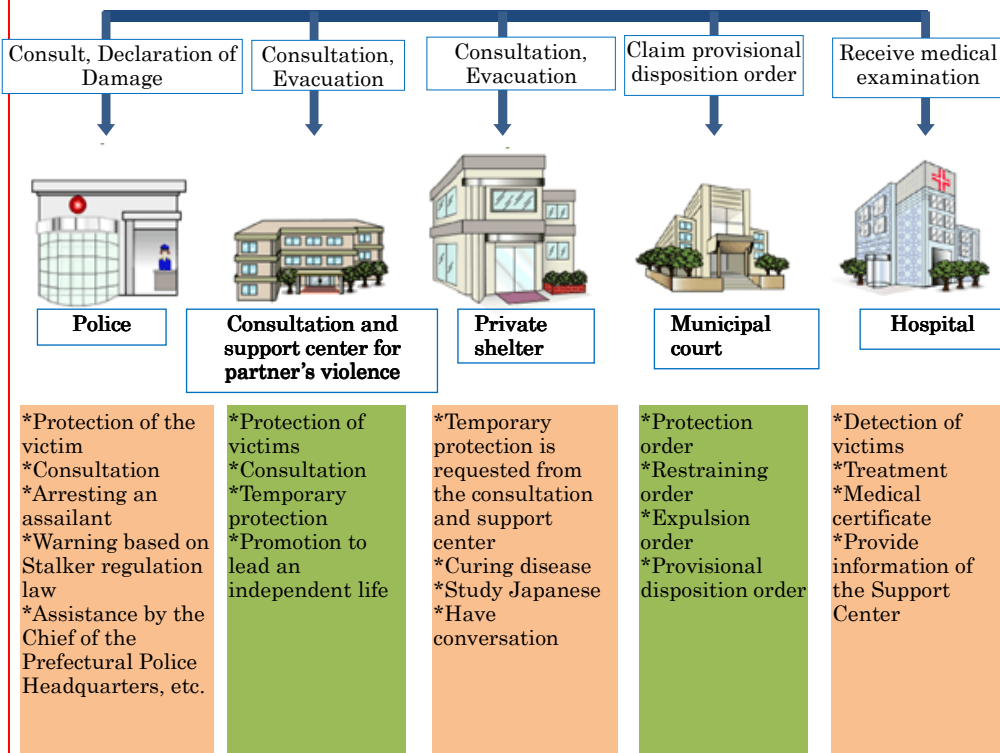
生活が安定したら、自立を目指し生活保護から抜け出しましょう。

One in 17 couples marries a foreigner nowadays. There are many partners and lovers who come to FICEC to get advice about domestic violence. If you are in fifty-fifty relationship, it may be called a quarrel to say what you both want to say. But if your partner tries to control you or do not honor human rights, it may be said domestic violence. If you cannot solve the situation or if there is any fear for your physical safety, come and consult us. In 2001, Domestic Violence Law (Law regarding support of victims of domestic violence) has been established and network to support the victims has been enhanced much currently. Here are related information based on documents in Cabinet Office.

Support chart to secure safety life



Victim



Consultation of domestic violence



Move in to an apartment

Escape to police or municipal office

Talk in detail

If it is recognized as domestic violence victim

Move into women's consultation center or a private shelter (two weeks to one month)

Go to law firm to ask advice for divorce and parental power

Go to hospital who have any illness

Search for an apartment

Q.1

I get into a quarrel with my Chinese wife at once. I yell out loudly and my wife speaks loudly in Chinese. I was tired because of work and I punched her in front of my child. Am I wrong? (Japanese, Male)

A For whatever reason, it is bad to commit violence. It is wrong to think you can work your will on your partner only with your values. It is child abuse to behave violently in front of children.

When children see violence, it is said it causes various bad effect on their mind and body. If a child is raised in an environment always

seeing violence, he/she may become an adult who may easily use violence to solve any problem. You should know that both domestic violence and child abuse is a crime.



Q.2

My husband always quits work very quickly. He does not even give me living expenses. Living becomes more difficult. I don't know what to do. (Brazil, Female)



A It is a part of violence not to give you living expenses. One way to solve the problem is that you work to earn money. You should learn Japanese to work here in Japan.



When You Want to Find a Job... <Hello Work>

Kawaguchi	048-251-2901	Omiya	048-667-8609
Kumagaya	048-522-5656	Kawagoe	049-242-0197
Honjo	049-522-2448	Higashi matsuyama	049-322-0240

Urawa	048-832-2461
Tokorozawa	042-992-8609
Hanno	042-974-2345
Titibu	049-422-3215
Kasukabe	048-736-7611
Gyoda	048-556-3151
Soka	048-931-6111
Asaka	048-463-2233
Koshigaya	048-969-8609

Q.3

A man who I went out before I get married found me on Facebook. Then I got more than 100 e-mails. He also found my home address. What should I do?

(Philippines, Female)

Recently, there are stalking activities using e-mail, chatting, and Facebook. You should be careful in handling them. You should say no straightly and set denial of reception for the nuisance mails.

If you are still stalked or feel threat to life, consult police or

Consultation and support center of domestic abuse by your partner seen on page xx.

Stalking is regulated by Stalker law since Oct. 3, 2013.



Q.4

My live-in boyfriend hits and kicks me or throw things to me when he is drunk. Recently, he behave violently even he is sober. What should I do? (Brazil, Female)

A It would be lucky that you could know his true nature before you get married. You should escape at once. At that time, take your passport, visa, health insurance card, and savings passbook with you. Be sure to change your cellular phone number and mail address.

If there is a serious danger to yourself, it is recommended to

challenge protective order to a court.

This protective order is also applied to victims of violence of live-in partner since Jan. 3, 2014.

There are following three types in protective order. If you violate the law, you face imprisonment of up to one year or you are fined up to 1 million yen.

①Restraining order:

Order to prohibit the perpetrator from stalking around the victim, her/his child or her/his family, Duration is 6 months.

②No phone call order:

Phone calling and sending e-mails

to the victim is prohibited. Duration is 6 months.

③Expulsion order:

The perpetrator is ordered to go away from the house living with the victim. The duration is two months.

Q.5

My husband always barks “fool”, or “out you go!” I don’t want to live with him anymore. I want to leave home with my child. (Portugal, Female)

A It is mental violence to shout to wife. You may be filled with deep sorrow. But please wait to decide to leave your house easily. It is very hard to live as a single mother. Your child may want to see the father or you have to live where nobody knows you. Before deciding

to leave your house, let’s look around your daily life. It is necessary to start work and work hard to save money for an emergency.

If you can’t suffer by any means, consult to the inquiry counter on page xx.

Q.6

I think I am a victim of domestic violence but I don’t have any money to separate. As I have a child of three-months old, I cannot work. Can I apply for public assistance at once? (Columbia, Female)

A It is police station and local administration to judge if it is domestic violence. It is not easy to get public assistance. If it is recognized as domestic violence, you will be protected in a shelter temporary. If you don’t have money, you should apply for public assistance. If the application was approved, removing fee is supplied and move to an apartment or mother and child support facility.

In this case, you cannot return to the former life.

Such procedures are very difficult. It takes many helps of volunteers and many taxes.

When your living become stable, y should earn money live independen and quit pub assistance.



现在 17 对夫妻里就有 1 对夫妻是国际婚姻。在ふじみの国際交流センター受理的咨询中，最多是有关遭受配偶者或恋人暴力行为的咨询。

关系平等，相互讲出自己想讲的属于争吵，但如果是要主宰驾驭对方，对方的人权不被承认的话则属于 DV。如果自己不能解决的话，请您尝试着去咨询一下。

2001 年有出台 DV 法（为支援 DV 被害者而出台的法律条款）。受害者援助网得到了显著的加强。

确保生活安全的支援导航



受害者

咨询，受害声明

咨询，避难

咨询，避难

保护命令的申请
临时处理命令的申请

就诊
(受伤时)



警 察

- 受害者的保护
- 咨询
- 检举肇事者
- 根据骚扰法的规定给与警告等
- 警察等的援助



配偶者暴力咨询支援中心

- 受害者的保护
- 咨询
- 临时保护
- 自立生活的促进



民间保护机构等

- 也会受理来自配偶者暴力咨询支援中心的临时保护委托
- 疾病的治疗
- 学习日语
- 对话伙伴



地方法院

- 保护令
- 禁止靠近令
- 驱逐令
- 临时处置令



医 院

- 发现受害者
- 治療
- 诊断书的制作
- 援助中心情报的提供



DV 咨询的程序



搬家

逃去找警察或市政府

详细说明

被认定为 DV 受害者时

入住妇女咨询中心及民间保护机构

(两周到 1 个月)

- 去有咨询离婚，咨询孩子监护权的律师事务所
- 患有疾病者到医院看病
- 找房子

Q.1

立即与中国籍的妻子吵翻了。我的声音很大，妻子用中文喋喋不休的说个不停。再加上工作上的疲惫，因此，我在孩子面前殴打了妻子。我这样是不对吗？（日本・男性）

A 不论什么理由，对人施加暴力都是不对的。让对方遵从自己的想法，遵从自己的价值观是一件不可能的事。另外，在孩子面前施加暴力又属虐待儿童的行为。

目击了暴力行为的孩子身上都会有不同的症状显现出来。您总是让孩子在家里看

到暴力行为的话，也就意味着您可能在培育一个会用暴力表现自己感情，或者用暴力手段解决问题的人。



Q.2

丈夫的工作无法长期持续，总是很快就辞掉了。丈夫也不给生活费。生活变得越来越困苦。要怎样才能好呢？（巴西・女性）

A 丈夫的工作无法长期持续，总是很快就辞掉了。丈夫也不给生活费。生活变得越来越困苦。要怎样才能好呢？（巴西・女性）



欲求职之时〈职业介绍所〉

川 口	048-251-2901	大 宫	048-667-8609
熊 谷	048-522-5656	川 越	049-242-0197
本 庄	049-522-2448	東松山	049-322-0240

浦 和	048-832-2461
所 沢	042-992-8609
飯 能	042-974-2345
秩 父	049-422-3215
春日部	048-736-7611
行 田	048-556-3151
草 加	048-931-6111
朝 霞	048-463-2233
越 谷	048-969-8609

Q.3

结婚前交往的男性朋友通过 FACEBOOK 联络上了我。那之后，他 1 天就发了 100 封左右的电子信件给我。而且，我的住址也被他知道了。我怎样才能比较好呢？（菲律宾 女性）

A 从 2013 年 10 月 3 日开始, 骚扰规则法会针对「纠缠等行为」进行监督管理。最近利用电子信件, 网上聊天室, FACEBOOK 进行骚扰的行为急速增加。因此, 提醒大家在使用上要十分小心。果断地拒绝对方, 利

用垃圾信件对策将其设定为拒绝收信对象。

不过, 如果你被骚扰, 盯梢, 或者感觉到身体和生命会有危险的话, 请与 P31 上记载的警察及配偶暴力咨询中心联络。



Q.4

丈夫在家一喝酒就会又打又踢又扔东西。最近就算不喝酒也会有暴力行为。我该怎么办才好呢? (巴西 女性)

A 你能在生活中发现他的本性这就算是 不幸中的万幸了。还是尽早离开他吧! 请立即避开。避开时, 请记得一定带好护照, 签证, 健康保险证, 存折等证件。同时, 请尽快更换手机号码和电子邮件的地址。如果身体有可能受到严重伤害时, 建议您向法院申请要求下发保护令。从 2014 年 1 月 3 日开始, 只要已经成为保护对象, 就算是被同居的交往对象施加暴力也适用。保护令分如下 3 种。违反命令者会被处于 1

年以下徒刑, 或者是 100 万日元以下的罚款。

①禁止靠近令: 命令被告者不可以接近或在受害者, 孩子及其亲属附近徘徊。期限 6 个月。

②电话等的禁止令: 禁止打电话或发电子信件给受害者

③驱逐令: 命令被告者从受害者的住处搬走。期限 2 个月



Q.5

丈夫总会怒吼, 叫嚷着说「浑蛋」「滚」。我已经很反感和他一起生活。我想带着孩子离开这个家, 到外面去生活 (葡萄牙 女性)

A 对妻子暴吼属于精神暴力。这种行为是不是已经让你感觉非常痛苦与悲哀呢? 但是, 也还不要轻易的就决定要离家出走。因为, 母子二人独自生活是一件非常不容易的事。孩子也会因为想见爸爸而又哭又闹, 您也可能不得不到没有熟人, 没有朋友的地方居

住。

在您决定离家出走之前, 一定要先重新审视自己每一天的生活细节。

先考虑开始努力工作, 存下一些钱备在万不得已时使用才是最重要的。

在忍无可忍的情况下, 您也可以到 P31 记载的咨询窗口去咨询。

Q.6

我认为自己已属于 DV 受害者。但却没钱过分居生活, 再加上要带 3 个月的孩子, 无法上班。所以, 我想知道, 我是否可以马上申请生活保护? (哥伦比亚 · 女性)

A 是否属于 DV 被害者要由警察和行政窗口进行判定。生活保护并不是能够轻易取得的。您必须先被认定为 DV 被害者, 然后, 得到暂时的保护。如果没有钱的话, 可以申请生活保护, 得到认可后您可以拿到移居费, 您

可以搬到其他住居地或母子支援设施。到此就不能在回到从前的生活了。

到此为止的手续非常繁琐, 因为, 这会花掉很多来自劳动者的税金。

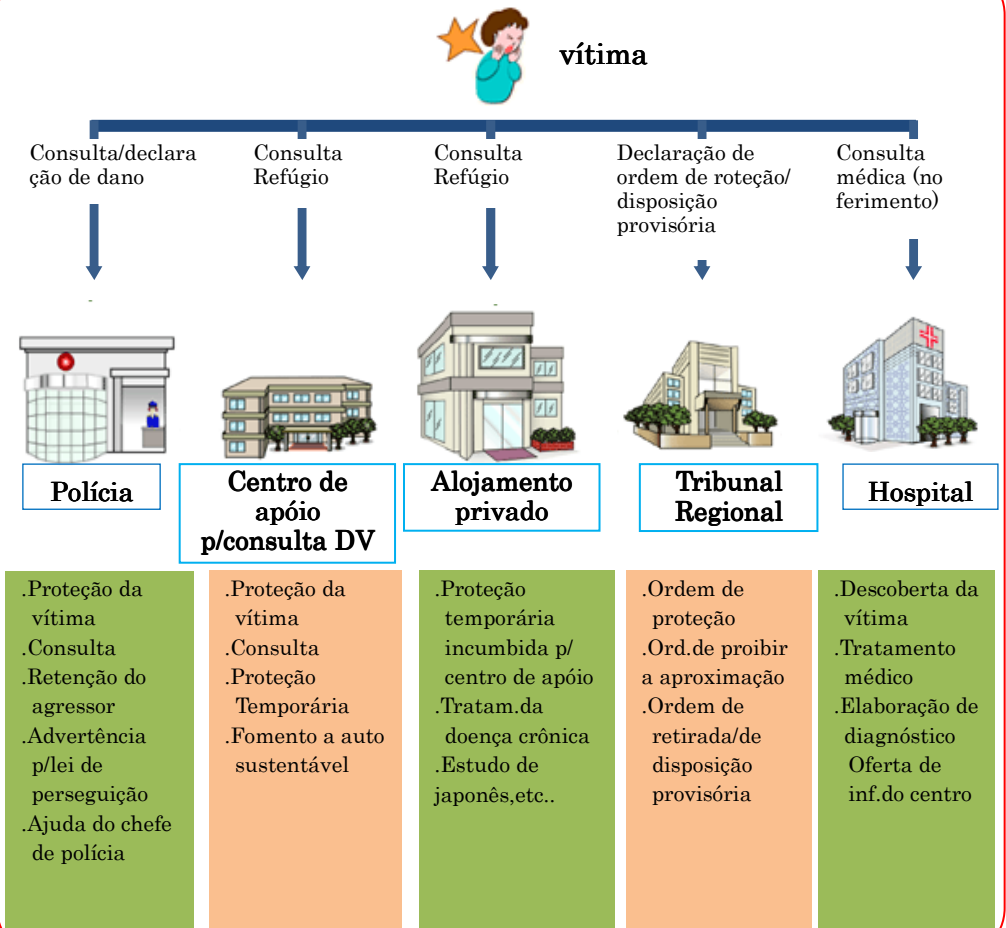
因此, 生活安定后, 一定要自立脱离生活保护的支援。

Hoje, 17 pares que se casam um é casamento internacional. Diante disso, tem aumentado consultas relativas à violência praticada pelo cônjuge e namorado.

Discussão é dizer mutuamente o que tem a dizer de igual para igual. VD é subjugar outro sem reconhecer seus direitos. Se não consegue resolver por si ou sente o perigo da vida, procure pedir conselho em vez de afligir-se,

Após a formação da lei de VD em 2001, melhorou o trabalho de apóio a vítimas. Apresentamos conexão dos órgãos relacionados com base nos dados do gabinete ministerial.

Mapa de apóio p/ garantir uma vida segura



Fluxo de consultas sobre Violência



Mudar para um apartamento.

Refugiar-se na polícia/prefeitura

Falar minuciosamente

Considerada como vítima de Violência Doméstica

Aloja-se no centro de consulta para mulher ou no alojamento privado.

(2 semanas~um mês).

- Ir ao escritório de advocacia para pedir conselho sobre divórcio/direito paternal.
- Fazer o tratamento da doença crônica no hospital
- Procurar um apartamento

Q.1

Vivo brigando com a esposa chinesa. Eu berrei e a esposa falou, falou e falou em chinês e não havia maneira de se calar. Acabei dando um murro na esposa diante dos filhos, porque estava cansado de tanto trabalhar.Será que estou errado?

(Japonês)

A Seja qual for o motivo quem pratica a violência está errado. É uma coação fazer as coisas correrem como quer, de acordo com seu conceito dos valores. Além disso, é mau trato das crianças praticar a violência diante delas. Dizem que aparece diversos sintomas físicos-mentais nas crianças que presenciam a

violência.

As crianças que crescem convivendo com a violência no lar, poderão tornar-se adultos que usam a violência como meio de expressar seus sentimentos e na solução dos problemas.



Q.2

Meu marido não consegue persistir no trabalho. Não entrega também o dinheiro para viver. A vida está se tornando cada vez mais difícil.O que devo fazer?(Brasileira)



A Não entregar o dinheiro necessário para custear a vida também é um tipo de violência. Mas se você trabalhar poderá arcar com o custo também, que será uma solução do problema. Para tanto recomendamos aprender o japonês.



Quando estiver à procura de emprego Agência de emprego pública			
Kawaguchi	048-251-2901	Omiya	048-667-8609
Kumagaya	048-522-5656	Kawagoe	049-242-0197
Honjo	049-522-2448	Higashi matsuyama	049-322-0240

Urawa	048-832-2461
Tokorozawa	042-992-8609
Hanno	042-974-2345
Titibu	049-422-3215
Kasukabe	048-736-7611
Gyoda	048-556-3151
Soka	048-931-6111
Asaka	048-463-2233
Koshigaya	048-969-8609

Q.3

O rapaz com quem saía antes do casamento, encontrei-me de novo no Facebook. Daí em diante, chega diariamente mais de 100 e-mails. Sabe até onde moro. O que devo fazer? (Filipina)

A Ultimamente tem multiplicado atos de perseguição usando e-mail, chat, Facebook, Tome cuidado no manuseio.

Recuse claramente. Determine “Rejeição de Recepção” como medida contra e-mail incômodo.

Mesmo assim, ao ser assediada ou ao sentir o perigo da vida, procure

polícia ou centro de consulta de Violência Doméstica .

A partir de 3/10/2013, o assédio tornou-se objeto de fiscalização pela lei de assédio.



Q.4

Meu namorado que vive juntos, quando fica bêbado me dá surra, chuta, joga objetos. Ultimamente mesmo sem estar bêbado pratica violência. O que devo fazer? (Brasileira)

A Ainda bem que descobriu o caráter do namorado durante convivência. Separe logo. Procure refugiar-se dele, levando passaporte, cartão de permanência, carteira de saúde, caderneta de conta bancária, sem falta. Mude logo o número do celular e mail- address. .

Quando sente o perigo da vida, recomendamos declarar a ordem

de proteção no tribunal regional. A partir de 3 de janeiro de 2014, a vítima da violência do companheiro que vive juntos será objeto da ordem de proteção .

Há três seguintes ordens de proteção. Ao infringir a ordem, terá menos de 1 ano de pena de prisão ou pagamento de multa de menos de 1 milhão de ienes. ① Ordem de proibir a aproximação: Ordem de

proibir o assédio e a ronda do agressor à vítima e seus filhos ou parentes. Um período de 6 meses.

② Ordem de proibir a ligação telefônica: Proíbe a ligação telefônica ou envio de e-mail à

vítima. Um período de 6 meses.

③ Ordem de retirada: Ordena o agressor se retirar da casa onde mora juntos com a vítima. Um período de 2 meses.

Q.5

Meu marido sempre berra dizendo: “Boba”, “Vá embora”. Não quero mais viver juntos. Quero viver com meus filhos fugindo de casa. (Portuguesa)

A Dar o berro na mulher é uma violência mental. Deve sentir humilhada e triste. Mas pense um pouco antes de fugir de casa. Porque não é fácil viver somente com seus filhos. Os filhos poderão chorar querendo encontrar com o pai. E acaba vivendo num lugar

sem amigos e conhecidos. Antes de fugir de casa, que tal rever a vida cotidiana Tente trabalhar, trabalha para valer e faça uma poupança para a hora H. Mesmo assim, se não aguenta, então procure o guichê de consulta da página 31.

Q.6

Acho que sou vítima de Violência Doméstica . Mas não tenho dinheiro para viver separados. Não dá para trabalhar porque tenho um filho de 3 meses.

É possível fazer o pedido de assistência social logo?

(Colombiana)

A Compete a polícia e órgão administrativo avaliar se enquadra no caso de Violência Doméstica. Não é fácil receber a assistência social.

Uma vez reconhecido que se trata de violência doméstica, será protegida temporariamente num alojamento. Se não dispõe de recurso, deve fazer uma solicitação de assistência social. Ao ser reconhecido será paga despesa de mudança e fará mudança no

apartamento ou na instituição de apóio materno-infantil. Não poderá mais recuar à vida anterior. Até chegar a esta etapa requer muito trabalho. Será despendida boa vontade de muitas pessoas e grande soma de impostos.

Uma vez alcançada uma vida estável, tente conseguir uma vida auto-sustentável e esgueirar-se da assistência social.



En uno de cada 17 matrimonios, uno de los contrayentes es extranjero. Hemos visto muchos matrimonios y parejas que vienen a FICEC a consulta sobre VD.

Si estas en una relación al 50%, es muy difícil poder expresar realmente lo que uno quiere decir. Si tu pareja trata de controlarte y no le importan tus derechos humanos, eso también es una forma de VD. Si no puedes resolver esta situación, o temes por tu seguridad física, ven a consulta a FICEC.

En el 2001, se estableció la Ley contra la Violencia Doméstica (ley que apoya a las víctimas de la VD) y se ha establecido una red de apoyo a las víctimas que han aumentado considerablemente. He aquí la información recabada hasta la fecha.

Gráfica de apoyo para una vida segura



Victima

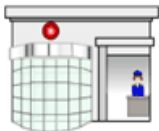
Consulta, declaración del daño (Aviso en caso de emergencia)

Consulta, escape

Solicitar orden de protección

Solicitar orden de protección, de alejamiento, o provisional de arresto

Examinación médica cuando haya lesiones



Policía



Centro de consulta y apoyo para víctimas



Refugio privado



Corte Municipal



Hospital

- *Protección de la víctima
- *Consulta
- *Arresto del asaltante
- *Advertencia basada en la ley contra en acoso
- *Asistencia del Jefe de la Policía o del cuartel donde resides.

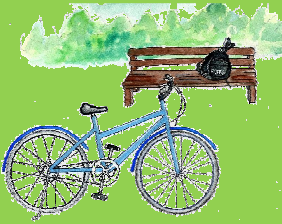
- *Protección de víctimas
- *Consulta
- *Protección Temporal
- *Estímulo para llevar una vida independiente

- *Protección temporal solicitada por el Centro de Consulta y Apoyo
- *Sanar las heridas
- *Estudio del japonés
- *Conversar

- *Orden de protección
- *Orden de alejamiento
- *Orden de desalojo
- *Orden provisional de arresto

- *Descubrimiento de víctimas
- *Curar lesiones
- *Certificado médico
- *Proveer información del Centro de Apoyo

Consulta sobre VD



**Irse a vivir al
departament**

Acudir a la policía o al

Hablar en detalle

Si es reconocida como victima de VD

**Irse al centro de apoyo para mujeres o a
un refugio privado**

(dos semanas a un mes).

- Acudir a un abogado para divorcio y patria potestad
- Ir al hospital si está enferma
- Buscar un departamento

Q.1

Una vez me peleé con mi esposa china. Le grite mucho y ella me gritaba en chino. Estaba muy cansado por mi trabajo y le pegué frente a mi hijo. Hice mal? (hombre japonés)

A Por la razón que sea, la violencia es mala. Esta mal pensar que tu puedes hacer tu voluntad sobre tu pareja solo porque se te antoja. Portarse violento enfrente de los hijos es una forma de abuso infantil.

Cuando los niños ven violencia, causa varios efectos malos en sus mentes y en sus cuerpos.

Si el niño crece en un ambiente rodeado de violencia, el/ella pueden convertirse en adultos que usen la violencia para resolver los problemas. Debes saber que tanto la VD como el abuso infantil, los dos son crímenes.



Q.2

Mi esposo cambia de trabajos muy rápido. No me da para el gasto diario. La vida se dificulta mas. No se que hacer.

(brasileña)



A No darte para el gasto diario es una forma de VD. Una solución sería que tu trabajaras y ganes tu propio dinero. Deberías aprender japonés para que puedas trabajar.



Quando usted quiere buscar trabajo **Oficina de empleo**

Kawaguchi	048-251-2901	Omiya	048-667-8609
Kumagaya	048-522-5656	Kawagoe	049-242-0197
Honjo	049-522-2448	Higashi matsuyama	049-322-0240

Urawa	048-832-2461
Tokorozawa	042-992-8609
Hanno	042-974-2345
Titibu	049-422-3215
Kasukabe	048-736-7611
Gyoda	048-556-3151
Soka	048-931-6111
Asaka	048-463-2233
Koshigaya	048-969-8609

Q.3

Un hombre con quien yo salia antes de casarme me encontro en Facebook. Me llegan mas de 100 e-mails. Tambien encontré mi dirección. Que debo hacer? (filipina)

A Recientemente, el acoso se hace por medio de e-mail, chateo, y por Facebook. Debes ser mas cuidadosa con estos. Debes ser firme y decir NO y bloquear los correos no deseados.

Si te siguen acosando y temes por tu vida, consulta a la policía o al Centro de Apoyo y Consulta de la

pagina XX

El acoso está regulado por la Ley contra el Acoso desde octubre 3, 2013.



Q.4

Mi novio, quien vive conmigo me golpea y pateo o arroja objetos al suelo cuando esta borracho. Ultimamente, tambien cuando esta sobrio. Que debo hacer? (brasileña)

A Sería fabuloso que una conociera la verdadera naturaleza de la pareja antes de casarse. Debes de alejarte de inmediato, al mismo tiempo, lleva tu pasaporte, visa, tarjeta del seguro médico, libreta de ahorros. Asegúrate de cambiar el número de tu teléfono celular y de tu correo electrónico. Si crees que en verdad corres peligro, se recomienda que

busques una orden de restricción en la corte.

Esta orden de la corte se expide a las víctimas de violencia desde enero 3, de este 2014.

Hay tres tipos de orden de protección. Quien viole la ley, puede ir a la carcel por un año y/o pagar una multa de un millón de yenes.

- ① De alejamiento: prohíbe a la pareja acosar a la víctima, hijos o familia, dura seis meses.
 ② Prohíbo llamarle: no podrá ni llamar ni mandar emails a la

víctima, también por seis meses.
 ③ De exclusión: Tendrá que dejar la casa de la pareja inmediatamente, dura dos meses.

Q.5

Mi esposo siempre me frita “tonta”, o “lárgate!”. No quiero vivir mas contigo. Me quisiera ir y llevarme a mi hijo
 (portuguesa)

A Gritarle a la esposa es una forma de violencia emocional. Después lo sentirás mucho.

Piénsalo bien, no decidas rápidamente. Es muy duro vivir como una madre soltera.

Tu hijo querrá ver a su padre y tu vivirás en donde no conoces a nadie. Antes de decidir en dejar el

hogar, piensa en tu vida.

Será necesario que empieces a trabajar para ahorrar dinero para emergencias.

Si aun así decides no sufrir mas, consulta al Centro de Apoyo de la página XX.

Q.6

Creo que soy víctima de VD pero no tengo dinero para separarme. Como tengo un bebe de tres meses, no puedo dejarlo para ir a trabajar. Puedo solicitar ayuda pública?
 (colombiana)

A La policía y los investigadores determinarán si existe VD. No es fácil obtener ayuda pública. Si se te autoriza por VD, obtendrás protección en un refugio temporal. Si no tienes dinero, debes solicitar ayuda pública. Si se te autoriza, te puedes ir a vivir a un departamento o a un lugar de apoyo a la madre y al hijo/a. En este caso, no podrás dar marcha atrás y volver a tu vida anterior.

Los procedimientos son difíciles.

Ocupas ayuda de los voluntarios y de los impuestos.

Cuando te estabilices, deberás trabajar para ganar dinero y renunciar a la asistencia pública.

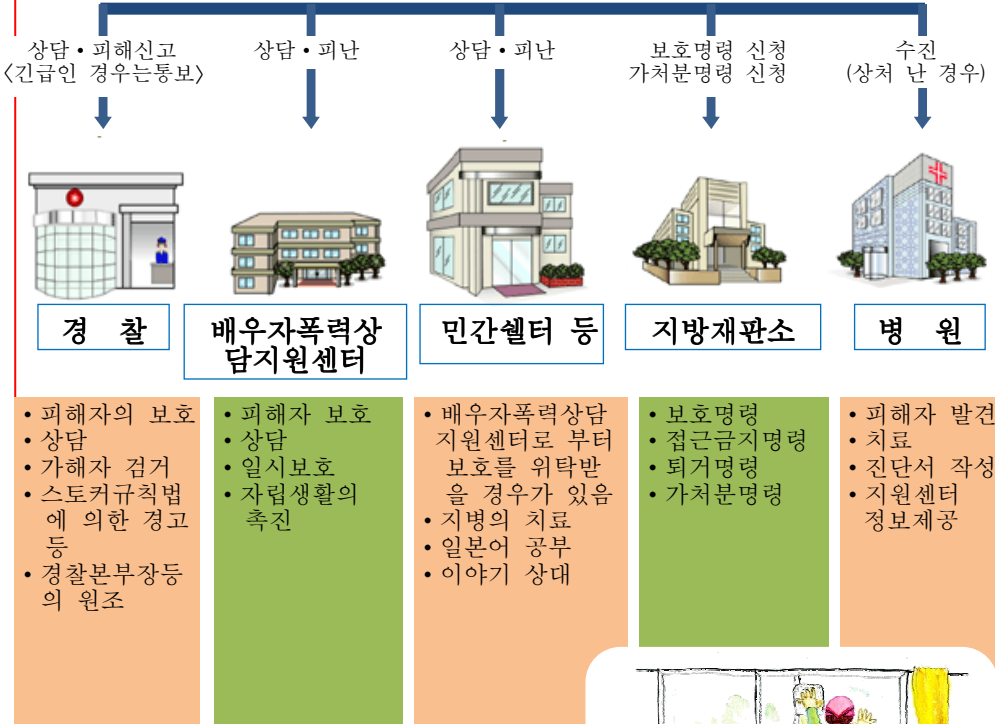


17 쌍 중에 1 쌍이 국제결혼인 요즘, 후지미노 국제교류센터에서는 배우자나 애인의 폭력에 관한 상담이 많아지고 있습니다.
대등한 관계로 서로 하고 싶은 말을 하는 것이 싸움이지만, 상대를 지배하려 하거나, 상대방의 인권을 무시하는 것은 가정폭력(DV)입니다.
스스로 해결할 수 없는 경우나 신변상 위협을 느낄 때는 혼자 고민하지 말고 상담합시다.

안전한 생활을 확보하기 위한 지원지도



피해자



DV 상담과정



아파트로
이사한다

경찰, 관공서로 도망간다

자세하게 설명한다

DV 피해자로 인정받을 경우

부인상담센터 또는 민간 쉼터에 입주
(2 주에서 한달)

이혼, 자녀의 친권 등의 상담을 위해
변호사사무실에 간다
지병이 있는 경우 병원에 다닌다
아파트를 찾는다

Q.1

중국인 아내와 자주 싸우게 됩니다. 제가 소리를 지르고 아내는 중국어로 말뼋구를 해댁니다. 직장일로 피곤한 상태여서 아이들 앞에서 때렸습니다. 제가 나쁜걸까요? (일본・남성)

A 어떤 이유에서든 폭력을 휘두르는 쪽이 나쁩니다. 자기의 가치관만으로 상대방을 자기마음대로 할 수는 없습니다. 또한 자녀들이 보는 앞에서 폭력을 휘두르는 것은 아동학대입니다. 이로 인해 아이들에게 여러가지 심신의 이상증상이 나타난다고 합니다. 가정내에서 항상 폭력을 보며 자란

아이들은 감정표현이나 문제해결의 수단으로 폭력을 일삼는 어른으로 자랄 수 있습니다. DV 도 아동학대도 범죄라는 사실을 자각하시기 바랍니다.



Q.2

남편은 직장을 오래 다니지 못하고 금방 그만둡니다. 생활비도 주지 않습니다. 생활이 점점 힘들어 지고 있습니다. 어떻게 해야 좋을지요? (브라질・여성)

A 필요한 생활비를 주지 않는 것도 폭력의 일종이지만, 문제해결의 방법으로 본인이 일을 함으로 생활비를 충당할 수도 있습니다. 그러기 위해 일본어 공부를 해 둡시다.



일을 찾고 싶을 때 <하로와쿠>

Kawaguchi	048-251-2901	Omiya	048-667-8609
Kumagaya	048-522-5656	Kawagoe	049-242-0197
Honjo	049-522-2448	Higashi matsuyama	049-322-0240

Urawa	048-832-2461
Tokorozawa	042-992-8609
Hanno	042-974-2345
Titibu	049-422-3215
Kasukabe	048-736-7611
Gyoda	048-556-3151
Soka	048-931-6111
Asaka	048-463-2233
Koshigaya	048-969-8609

Q.3

결혼 전에 사귀던 남자와 페이스북으로 연결되었습니다. 그 후 하루에 100 건이상 메일이 옵니다. 주소도 알려져 버렸습니다. 어쩌면 좋을까요? (필리핀・여성)

A 최근에는 메일이나 채팅, 페이스북을 사용한 스토키 행위가 급증하고 있습니다. 이를 이용시에는 충분히 주의를 합시다. 상대방에게는 분명하게 거절을 하고, 스팸메일 대책으로 [수신거부설정]을 하세요. 그래도 스토키행위를 계속하거나, 생명이나

신변의 위험을 느낄 때는 P31의 경찰이나 배우자폭력 상담센터에 상담합니다. 2013년 10월 3일부터 스토키규칙법「주변을 감시하는 등」에 의해 제재가 가능해졌습니다.



Q.4

동거중의 남자는 술을 마시면 때리고, 차고, 물건을 내던집니다. 최근에는 술을 마시지 않았을 때도 폭력을 휘두릅니다. 어떻게 해야할까요? (브라질 • 여성)

A 동거남의 본성을 알게 된 것은 불행 중 다행입니다. 빨리 헤어지세요. 일단 피해야 합니다. 피할 때는 여권, 비자, 건강보험증, 저금통장 등은 반드시 가지고 나오세요. 핸드폰 번호나 메일 어드레스 등을 바로 변경하세요. 신변상의 위험이 느껴질 때는 재판소에도 보호명령을 요청할 것을 권합니다. 2014년 1월 3일부터 보호명령의 대상이 동거중인 상대로부터의 폭력 피해자도 해당이 됩니다.

보호명령에는 다음의 세 종류가 있습니다. 명령을 위반하면 1년이하의 징역 및, 100만엔이하의 벌금을 내야합니다.
①접근금지명령 : 가해자가 피해자나 자녀, 또는 친족 등에 주변을 감시하거나 배회하는 것을 금지하는 명령. 기간은 6개월입니다.
②전화금지명령 : 피해자에 대한 전화나 메일을 금지합니다. 기간은 6개월입니다.
③퇴거명령 : 피해자와 같이 살고 있는 집으로부터 가해자를 퇴거하도록 명령하는 것입니다. 기간은 2개월입니다.

Q.5

남편은 항상 [바카][나가버려]라고 소리를 지릅니다. 더이상 같이 살기 싫어졌습니다. 아이들을 데리고 나가 생활을 하려고 생각합니다.(포르투갈 • 여성)

A 아내에게 소리를 지르는 것은 정신적폭력이라고 할 수 있습니다. 아마도 당신도 슬프고 마음이 아플 것입니다. 쉽게 집을 나가는 것으로 끝낸다는 생각은 신중해야 합니다. 엄마와 아이들만 사는 것이 쉬운 일은 아닙니다. 아이들이 아빠를 보고 싶어하며 울거나, 친구나 지인들이 없는 곳에서 살아야 하기도

합니다. 쉽게 집을 나갈 것을 결정하기 전에 일상 생활을 다시 한번 생각해봅시다. 일을 시작하고, 열심히 일을 하고 미래를 위해 저축하는 것도 중요합니다. 그러나 아무리 생각해도 참을 수가 없다면 P31의 상담창구로 상담해주세요.



Q.6

저는 DV 피해자라고 생각합니다. 하지만 별거를 할 돈이 없습니다. 3개월된 아기가 있어 일을 할 수도 없습니다. 생활보호 신청은 바로 할 수 있습니까?.(콜롬비아 • 여성)

A DV라고 판단하는 것은 경찰이나 행정장구입니다. 간단하게 생활보호를 받을 수 있는 것은 아닙니다. DV로 인정되면 일시적으로 쉼터에 보호받습니다. 돈이 없는 경우에는 생활보호를 신청하고, 인가받으면 이사비용이 지급되며, 아파트나 모자지원시설로

이사합니다. 지금까지의 일상생활로 돌아갈 수는 없습니다. 여기까지는 힘든 작업으로 많은 사람들의 선의와 많은 금액의 세금이 쓰여집니다. 생활이 안정되면 자립을 목표로 생활보호로부터 벗어납니다.

Isa sa 17 na couples o magkapareha ay nag-aasawa ng dayuhan. Subalit marami din ang pumupunta at humihingi ng payo sa FICEC tungkol sa domestic violence. Sa isang pantay na relasyon, kung parehas ninyong nasasabi ang nasasaloolb, ito ay isang pagtatalo. Subalit kung sapilitan kayong kinokontrol ng iyong kasama at hindi alintana ang inyong karapatang pantao, ito ay domestic violence. Kapag hindi ninyo maayos ang problema at kayo ay natatakot para sa iyong kapakanan huwag mag-atubiling humingi ng tulong. Sa 2001 Domestic Violence Law (Batas ukol sa suporta sa biktima ng karahasan sa tahanan) ay itinatag at suporta para sa mga biktima. Sa ibaba ay ang ilang mga impormasyon.

Tsart ng Suporta para sa ligtas na pamumuhay



Biktima

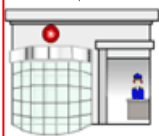
Konsultasyon,
Pagdeklara Bilang
Biktima

Konsultasyon,
Paglikas

Konsultasyon,
Paglikas

Petisyon para sa
Proteksyon
Petisyon para sa
Pansamantalang
Pag-aayos

Pagpapagamot
kung may Sugat o
Nagkasakit



Pulis



**Konsultasyon at
support center
for domestic
violence**



**Private
shelter**



**Municipal
court**



Ospital

*Proteksyon ng biktima
*Konsultasyon
*Paghuli sa maysala
*Babala ayon sa stalker regulation law
*Tulong mula sa Chief of the Prefectural Police Headquarters, at iba pa.

*Proteksyon sa biktima
*Konsultasyon
*Pansamantalang proteksyon
*Paghahanda para sa sariling pamumuhay

*Magkakaroon ng pansamantalang proteksyon mula sa consultation/ support center
*Pagpapagaling ng sakit
*Pag-aaral ng Nihonggo
*Pagkakaroon ng makakausap

*Pag gawad ng Proteksyon
*Pagbabawal sa paglapit sa biktima
*Paglikas ng biktima
*Pansamantalang proteksyon na ibibigay

*Pagkilala sa biktima
*Paggagamot
*Medical certificate
*Pagbibigay ng impormasyon ng Support Center

Nangyayaring konsultasyon tungkol sa Karahasan ng Tahanan



Lumipat ng apartment



Pagtakas papuntang Pulisya o Munisipyo

Makipag-usap na nasa detalye

If it is Kung ito ay kinikilala bilang karahasan sa tahanan

Paglipat sa konsultasyon center pambabae o pribadong kanlungan (mula dalawang linggo hangang isang buwan)

Pumunta sa opisina ng abogado upang humingi ng payo para sa diborsiyo at karapatan ng magulang.
Pumunta ng ospital kung meron karamdaman
Maghanap ng apartment

Q.1

Minsan nag-away kami ng asawa kong insik. Nasigawan ko siya ng malakas at nagsalita siya ng malakas sa salitang intsik. Galing ako sa trabaho at pagod kaya nasaktan ko siya sa harap ng aming anak. Mali ba ako? (Hapon, lalaki)

A Kahit ano man ang iyong dahilan, masama ang iyong ginawa na pananakit. At mali ang nasa isip mo na maging sunod-sunuran sa iyo ang iyong asawa. Ang pagkilos ng marahas sa harapan ng mga anak ay isang pag-aabuso ng bata. Kapag ang bata ay nakakakita ng karahasan, ito ay magbibigay ng malaking epekto sa kanyang pag-iisip dahil paglaki niya kung ano man ang kanyang kinalakihan

sa paligid ay ganun din ang kanyang gagawin. At dapat mong malaman na ang karahasan ng tahanan at pag-aabuso ng bata ay krimen.



Q.2

Ang asawa ko ay madalas huminto sa trabaho. Hindi rin niya ako binibigayn ng pang-araw araw na pang-gastos at naghihirap na kami sa aming pamumuhay. Ano ang dapat kung gawin? (Brazil, babae)



A Ang hindi pagbibigay sa iyo ng pang-gastos ay isa sa parte ng kalupitan. Ang solusyon sa problema ay dapat kang magtrabaho para kumita ng pera.. Kailangan mo

rin mag-aral ng salitang hapon
para makapagtrabaho ka dito
sa Japan.



Kung naghahanap kayo ng trabaho

〈Hello Work〉

Kawaguchi	048-251-2901	Omiya	048-667-8609
Kumagaya	048-522-5656	Kawagoe	049-242-0197
Honjo	049-522-2448	Higashi matsuyama	049-322-0240

Urawa	048-832-2461
Tokorozawa	042-992-8609
Hanno	042-974-2345
Titibu	049-422-3215
Kasukabe	048-736-7611
Gyoda	048-556-3151
Soka	048-931-6111
Asaka	048-463-2233
Koshigaya	048-969-8609

Q.3

Ang kasintahan ko noon bago ako ikinasal ay nakita ako sa facebook. At nakakatanggap ako ngayon ng isang daan na email. Nalaman pa niya ang aking tirahan. Ano ang aking dapat gawin? (Pilipino, babae)

A Sa ngayon ay maraming pang-yayaring stalking katulad ng email, chatting at facebook. Kailangan mong magingat sa mga ganitong pang-yayari. Kailangan mong tumanggi ng deretso na ayaw mo at huwag pansinin ang kanyang mga istorbo na email. Kung patuloy pa rin ang kanyang pag-i-stalk at nararamdaman mong

delikado ang iyong buhay, kailangan mong kumonsulta sa pulis o pumunta sa konsultasyon at support center ng pang-aabuso kasama ang iyong asawa. Makikita sa pahina xx
Pinangasiwaan ang stalking ng
Batas ng Stalker noong Oktobre 3, 2013.

Q.4

Madalas akong sinasaktan ng aking kinakasama at sinisipa o tinatapunan ng mga gamit kapag nalasing. Kamakailan lang kahit hindi siya lasing ay sinasaktan pa din niya ako. Ano ang dapat kong gawin? (Brazil, babae)

A Mas mabuti at hangga't maaga pa nalaman mo na ang kanyang totoong pagkatao bago kayo ikinasal. Kailangan mo na siyang hiwalayan at dalhin ang iyong pasaporte, health insurance card at libreta ng banko. At siguraduhin na palitan ang numero ng iyong telepono at email address. Kung nakakaramdam ka ng seryosong panganib sa iyong buhay ay mas makakabuti na humingi ng tulong pamprotekta sa korte. Itong tulong pamprotekta ay para din sa mga

biktima ng karahasan ng asawa simula ngayon taon Enero 3, 2014. May tatlong uri ang Batas ng Protekta. Kung hindi sumunod sa patakaran, ikaw ay makukulong ng isang taon o di kaya magbabayad ng multa sa halagang isang milyon yen.
①Bawal ang lumapit: Binabalaan ang may kasalanan na lumayo sa biktima at sa kanyang mga anak na babae/lalaki o pamilya. Hangang anim na buwan.

② Batas ng pagtawag sa telepono: Pinagbabawal ang pagtawag sa telepono at pagpapa-dala ng email sa biktima. Hangang anim na buwan.

③ Batas ng pagbubukod: Ang may kasalanan ay inuutosan na lumipat ng ibang tirahan. Hangang dalawang buwan.



Q.5

Madalas akong sinisigawan ng masasakit na salita ng aking asawa at pinapalayas ng bahay. Hindi ko na kayang manirahan na kasama siya. Gusto ko nang umalis ng bahay at dalhin ang aking anak. (Portugal, Babae)

A Ang pagsisigaw at pagsasalita ng di maganda ay nakakasakit ng damdamin. Matatawag itong mental violence. Bago ka magpasya na umalis ng bahay, siguraduhin mong maigi ang iyong sarili. Dahil hindi madaling magpalaki ng anak na nag-iisa. May oras din na hahanapin ng anak ang tatay at gustong makita. Bago ka umalis ng bahay wala kang pagsasabihan kung saan ka pupunta. Bago ka mag-desisyong

humiwalay pag-isipang maigi ang mangyayari sa buhay mo araw araw. Kailangan mo rin agad mag-trabaho at maka-impok ng pera para sa anumang biglang pangangailangan. Kung di mo na kayang pagtiisan, mag-tanong ka sa tanggapan ng konsultasyon sa page xx.

Q.6

Nasasabi ko na ako ay isa sa biktima ng Karahasan sa Tahanan. Gusto kong humiwalay pero wala akong ipon na pera. Tatlong buwan palang ang anak ko, kaya di ako puwedeng mag-trabaho. Puwede ba akong mag-apply sa pampublikong tulong? (Columbia, Babae)

A Ang himpilan ng pulis at lokal na administrasyon ang magpasiya kung ito ba ay Karahasan sa tahanan. At hindi madali ang kumuha ng pampublikong tulong. Kung mapapatunayan na ito ay karahasan sa tahanan, puwede kang protektahan ng pansamantalang kanlungan. suporta ng pasilidad para sa inyong mag-ina. Sa kasong ganito, hindi ka na puwedeng bumalik sa dati mong buhay. Kung wala kang pera, puwede kang mag-apply ng pampublikong tulong.

Kapag ito ay na-aprobahan, bibigyan ka ng pambayad sa panlipat ng bahay at

suporta ng pasilidad para sa inyong mag-ina. Sa kasong ganito, hindi ka na puwedeng bumalik sa dati mong buhay. Mahirap ang mga patakaran. At kailangan maraming boluntaryong tutulong at malaki ang buwis na gagamitin. Kung matatag ka na, kailangan mong maghanap ng trabaho para kumita ng pera at tumayo sa sarili mong paa at huminto na sa pampublikong tulong.



■ 埼玉県内の配偶者暴力に関する相談窓口 はいぐうしゃ ぼうりょく の そうだんまどぐち

埼玉県婦人相談センター さいたまけん ふじん そうだん せんだー	048-863-6060
埼玉県男女共同参画推進センター さいたまけん だんじょ きょうどう さんかく すいしん せんだー With you さいたま	048-600-3800 http://www.withyou-saitama.jp/
吉川市配偶者暴力相談支援センター よしかわし はいぐうしゃ ぼうりょく そうだん しえん せんだー	048-982-5968 http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/
本庄市配偶者暴力相談支援センター ほんじょうし はいぐうしゃ ぼうりょく そうだん しえん せんだー	0495-25-1118(内線 3612) http://www.city.honjo.lg.jp/
朝霞市配偶者暴力相談支援センター あさかし はいぐうしゃ ぼうりょく そうだん しえん せんだー	048-463-0356 http://www.city.asaka.lg.jp/
川越市配偶者暴力相談支援センター かわごえし はいぐうしゃ ぼうりょく そうだん しえん せんだー	049-224-5723 http://www.city.kawagoe.saitama.jp
草加市配偶者暴力相談支援センター そうかし はいぐうしゃ ぼうりょく そうだん しえん せんだー	048-922-3562 http://www.city.soka.saitama.jp
上尾市男女共同参画推進センター あげおし はいぐうしゃ ぼうりょく そうだん しえん せんだー	048-778-5110 http://www.city.ageo.lg.jp/
志木市配偶者暴力相談支援センター しきし はいぐうしゃ ぼうりょく そうだん しえん せんだー	048-473-1139 http://www.city.shiki.lg.jp
八潮市配偶者暴力相談支援センター「八潮市DV相談支援室」 やしおし はいぐうしゃ ぼうりょく そうだん しえん せんだー	048-996-3955 http://www.city.yashio.lg.jp
警察 けいさつ	市外局番+110
西部福祉事務所 せいふ ふくし じむしょ	049-283-6800
東部中央福祉事務所 とうぶ ちゅうおう ふくし じむしょ	048-737-2132
北部福祉事務所 ぼくぶ ふくし じむしょ	0495-22-0101
秩父福祉事務所 ちちぶ ふくし じむしょ	0494-22-6228
ふじみの国際交流センター ふじみの こくさい こうりゅう せんだー	049-256-4290

■ 外国人のための相談窓口（埼玉県外） そうだんまどぐち（さたまけんがい）

東京法務局 とうきょう ほうむきょく 03-5213-1372	中国語 ちゅうごくご	(月げつ) 13:30~16:00
	英語 えいご	(火か・木もく) 13:30~16:00
	ドイツ語 どいつご	(火か・木もく) 13:30~16:00
警視庁総合相談センター けいさつ そうごう そうだん せんだー	03-3501-0110	8:30~17:15
東京ウイメンズプラザ とうきょう ういめんず ぷらざ	03-5467-2455	9:00~21:00
カトリック東京国際センター かとりっく とうきょう こくさい センター	03-5759-1061	10:00~17:00
東京都女性相談センター とうきょう じょせい そうだん せんだー	03-5261-3110	9:00~20:00

東上線沿線の日本語教室

No.	駅	駅から	教室名	連絡先
	えき	えきから	きょうしつめい	れんらくさき
1	朝霞 あさか	10 ぶん	朝霞地区インターナショナル ソサエティ (AIS) (えい あい えす)	048-465-1796
2	新座 にいざ	10 ぶん	イーブン (I V N)「日本語教室」 イーぶん「にほんご きょうしつ」	048-477-1111 (新座市役所 地域活動支援室) (にいざしやくしよ ちいきかつどう しえんか) 048-480-5705 (社協ボランティアセンター) (しゃきょう ほらんていあ せんたー)
3	志木 しき	1 ぶん	こどもの日本語クラブにいざ こどもの にほんご くらぶ にいざ	090-1701-5572 (なかむら)
4	志木 しき	5 ぶん	新座日本語の会 にいざ にほんごのかい	048-471-3367 (まつもと)
5	柳瀬川 やなせがわ	15 ぶん	かざぐるま日本語教室 かざぐるま にほんご きょうしつ	048-474-6508
6	みずほ台 みずほだい	3 ぶん	こども日本語学習クラブ こども にほんご がくしゅう くらぶ	090-2334-4678 (まつお)
7	みずほ台 みずほだい	20 ぶん	みよし日本語教室竹間沢 みよし にほんご きょうしつ ちくまざわ	049-259-8311
8	鶴瀬 つるせ	15 ぶん	みよし日本語教室藤久保 みよし にほんご きょうしつ ふじくぼ	049-258-0050
9	鶴瀬 つるせ	7 ぶん	富士見日本語サークル ふじみ にほんご さーくる	049-254-0715 (やまもと)
10	ふじみ野 ふじみの	30 ぶん	大井日本語クラス おおい にほんご クラス	049-261-0648
11	ふじみ野 ふじみの	20 ぶん	大井親子日本語教室 おおい おやこ にほんご きょうしつ	049-261-0648
12	ふじみ野 ふじみの	20 ぶん	ふじみの国際交流センター「日本語教室」 ふじみの こくさいこうりゅう せんたー「にほんご きょうしつ」	049-256-4290
13	上福岡 かみふくおか	5 ぶん	上福岡西公民館にほんご教室 かみふくおか にしこうみんかん にほんご きょうしつ	049-266-9501
14	ふじみ野 ふじみの	20 ぶん	弁天の森 日本語サロン べんてんのもり にほんごさろん	049-262-4476
15	川越 かわごえ	5 ぶん	きれいな日本語・上手な会話・日本語中級クラス きれいな にほんご・じょうずな かいわ・にほんご ちゅうきゅう くらす	049-226-3401
16	川越 かわごえ	5 ぶん	クラッセで日本語 くらっせで にほんご	049-228-7723 (川越市役所 文化振興課) (かわごえ しやくしよ ぶんかしんこうか)
17	川越 かわごえ	7 ぶん	日本語クラブ・ふれあい広場 にほんご くらぶ・ふれあい ひろば	049-243-0038

No.	駅	駅から	教室名		連絡先
	えき	えきから	きょうしつめい		れんらくさき
18	鶴ヶ島	15 ぶん	国際理解部会日本語サークル		049-271-1111 (ないせん 273) (鶴ヶ島国際交流協会) (つるがしま こくさいこうりゅう きょうかい)
	つるがしま		こくさいりかいぶかい にほんごさーくる		
19	若葉・坂戸	15 ぶん	坂戸日本語教室「けやき」		049-281-3950 (ほさか)
	わかば・さかど		さかど にほんご きょうしつ「けやき」		
20	若 葉	12 ぶん	千代田日本語の会		049-284-1821 (たかはし)
	わかば		ちよだ にほんごのかい		
21	北坂戸	10 ぶん	北坂戸日本語ボランティア		049-284-0337
	きたさかど		きたさかど にほんご ほらんていあ		
22	北坂戸	1 ぶん	日本語サロン「つどい」		090-2303-7138
	きたさかど		にほんご さろん「つどい」		
23	東松山	10 ぶん	東松山国際交流協会「日本語教室」		0493-23-2221 (ないせん275)
	ひがしまつやま		ひがしまつやま こくさいこうりゅう きょうかい 「にほんご きょうしつ」		

緊急のときに電話してください



きんきゅう の とき に れんらく してください

Call for help in emergency 緊急時、请来电

Ligue na emergência 긴급할 때 전화해 주세요

Llamar por teléfono en caso de emergencia

Tawagan sa panahon ng angailangans

事件・事故

じけん・じこ

110

Crimes, Accidents

事件・事故

Incidente, acidente

Accidente, robo, delito

사건・사고

Krimen, Sakuna

急病・火事

きゅうびょう・かじ

119

Medical emergencies (sudden illness/serious injury), Fires

急病・火災

Enfermidade repentina, incêndio

Emergencia, bomberos 긴급환자・화재

Medikal na pangangailangan (biglaang sakit/matinding sakuna), Sunog

外国人生活相談

がいこくじん せいかつ そうだん

月曜日～金曜日 10:00～16:00

げつようび きんようび

049-269-6450

日本語教室

にほんごきょうしつ

木曜日 もくようび 10:00～12:00

049-256-4290

- Foreign resident advisory center
Monday～Friday 10:00～16:00
- Japanese Language Class
Thursday 10:00～12:00

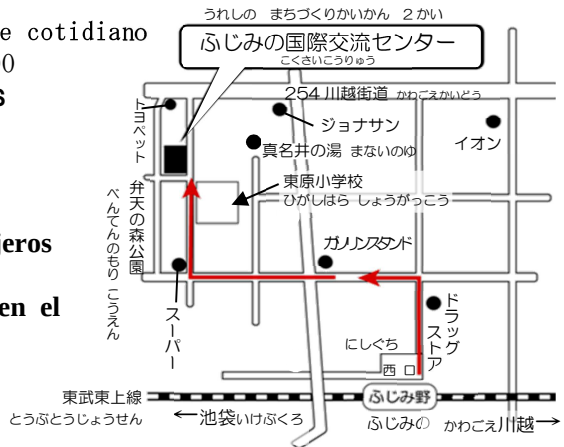
- 外国人生活咨询
星期一～星期五 10:00～16:00
- 日本語教室
每个星期四 10:00～12:00

- Foreign resident advisory center
Lunes～Biyernes 10:00～16:00
- Japanese Language Class
Huwebes 10:00～12:00

- 외국인생활상담
월요일～금요일 10:00～16:00
- 후지미노국제교류센터 일본어교실
매주목요일 10:00～12:00

- Consulta p/estrangeiros sobre cotidiano
Segunda～Sexta 10:00～16:00
- Quinta-feira Aula de Japones
quintas-feiras 10:00～12:00

- Centro de Consulta a Extranjeros
Lunes～Viernes 10:00～16:00
- Clases de Japones los jueves en el
Los jueves de 10:00～12:00



編集・発行

認定特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター
埼玉県ふじみ野市大井 2-15-10 うれし野まちづくり会館
TEL/049-256-4290 FAX/049-256-4291
<http://www.ficec.jp/>

定価 100 円